

全国学力・学習状況調査問題を活用して 指導の改善・充実を！【小学校 国語】

全国学力・学習状況調査問題を活用して指導の改善・充実を図るうえでのポイントを、「調査問題活用の参考資料」(国立教育政策研究所刊)等を基にまとめました。本県・自校の児童生徒の強みと課題を把握し、付けたい力を明確にした授業を展開しましょう。

令和2年11月
島根県教育センター

平成31年度(令和元年度)島根県学力調査における本県の課題

- ◆1 複数の文章、多様な資料から情報を読み取り、まとめることに課題がある。
- ◆2 同音異義語の漢字について、文の中で正しく書くことに課題がある。

◆1 [小6・4三] 正答率 16.1% 無解答率 8.3%



学習指導に当たって

- 文章の構成や展開などについて叙述をもとに図示するなどして、構造や内容を把握出来るようにすることが大切です。
- 精査・解釈したことをもとに、考えたことを自分の言葉で説明したり相手と共有してまとめたりすることを重視して指導を行いましょう。
- 多様な図書資料を読み比べたり、関連づけて読んだりするなど、多様な読書活動を学習に位置づけましょう。

◆2 [小5・1-4] 関心(カンシン)

正答率 18.2% 無解答率 4.1%

[小6・1-4] 努める(ツトめる)

正答率 23.1% 無解答率 6.6%



学習指導に当たって

漢字を書く際に、文の中で正しく使うことの大切さに気づくことができるようにすることが重要です。

- 短文文指導などの中で、正しい意味を意識しながら実際に書いて学ぶことが重要です。
- このことが、課題1「内容の違いを捉えて簡潔にまとめる」ことにもつながります。

令和2年度全国学力・学習状況調査問題の参考資料より

国語1 事物のよさを調べ、自分の考えを発表する(インスタント食品)

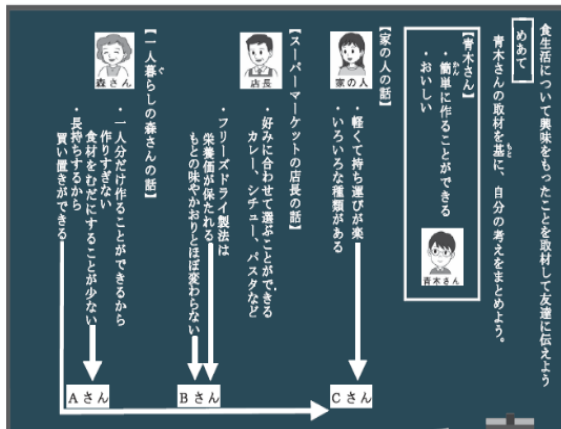
調査問題の活用にあたって

新学習指導要領に基づいて本問の趣旨を生かした授業を行ってみましょう。

【出題の趣旨】必要な情報を得るために工夫して取材をしたり、取材したことを基に自分の考えをまとめることができる。

授業アイデア例⇒調査問題を使って

自分の考えを適切に伝えるためには、目的や意図、聞き手を意識し情報を整理することが大切です。そのためには、情報を板書などで明示して、それらの情報を分類したり関連付けたりしながら話し合う活動を取り入れ、自分の考えをまとめることができるようにする工夫が必要です。



さらなる指導の充実のために

★ 昨年の全国学力・学習状況調査の結果から明らかになった自校の課題について全職員で共有し、系統性を意識した組織的な授業改善につなげることが大切です。